

経営課題を解決

# IRC

情報  
提供

人材  
育成

経営  
支援

(IRC会員募集中)

会員の方は各種サービスをご利用できます



※調査月報(発刊済)の無料送付も受付中

「新たな価値を創造・提供し続ける企業グループ」を目指して  
いよぎん地域経済研究センター

エレベーターメーカーじゃないと  
保守や修理対応は難しいでしょ？

ほとんどのメーカーに  
対応しています！  
最大50%のコストダウン  
を実現します！



創業43年 エレベーターの保守・改修工事  
愛媛メンテナンス株式会社

削りばし・煮干し・だしの素・めんつゆ・チルド商品

# マルトモ

マルトモ株式会社   
【本社】〒799-3192愛媛県伊予市米湊1696番地

50th  
おかげさまで  
創刊50周年

週刊  
1973年創刊

## 阿ることなく・恐れることなく 愛媛経済レポート

2023年(令和5年) 11月13日号 第2371号

家づくり何でも相談会実施中

Amami Home  
株式会社アマミホーム一般建築士事務所

### 福助工業

# 40億円投じ土居工場を增強

## ＝衛生用品の外装袋製造、国内外での需要増に呼応＝



同社は1910年創業。合成樹脂製品や不織布製品などさまざまなパッケージの製造を行う。製造拠点は国内20カ所、海外3カ所。土居工場(四国中央市土居町土居2616)は78年に開設。紙おむつやトイレトペーパー、生理用ナプキンといった衛生用品の外装袋を製造している。衛生用品の需要は国内外で順調に推移し、2015年には約2倍に拡張したが、さらなる安定供給のため、生産体制の強化を決めた。隣接地(2千平方メートル)を購入して敷地面積を4万8千平方メートルとした。購入した土地の近くにあった事務所棟と倉庫など(計3千平方メートル)を撤去

し、3階建て、延床1万平方メートルの建屋を新築する。工場全体で建物は延床約4万2千平方メートルになる。生産設備は需要に合わせて随時導入する予定で、最終的には現状の1.5倍の生産能力になる見通し。地球環境保全のため、増築部分の屋根にはPPA(第三者所有型)方式で太陽光発電設備を設置。VOC(揮発性有機化合物)を処理する最新設備も導入する。さらに自動倉庫や自動搬送装置を採用し、労働負荷の軽減を図る。来年8月竣工予定。投資額は建物の概算で約40億円。全国的に人手不足が深刻化する中で、今後同社は生産体制を維持するために、会社全体で省力化や自動化を進めていく考え。特に自動化は「人手不足解消だけでなく、異物混入防止など品質安定にもつながる。できるところから取り組んでいく」(同社)としている。

包装資材の総合メーカー福助工業(四国中央市村松町、井上雄次社長)は、衛生用品の外装袋を製造する土居工場を增強する。国内外で増加する需要に呼応。新たに延床1万平方メートルの建屋を増設し、生産能力を約1.5倍に引き上げたい考え。SDGsの取り組みとして地球環境保全や労働環境改善のための対策も実施する。

## 生産能力1.5倍に

思わず行きたくなる! ひと  
**うわさの女**

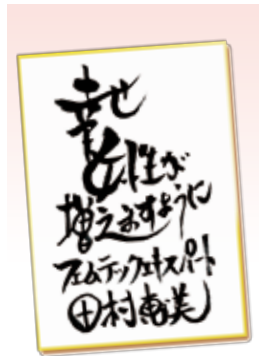


Sarabaya  
フェムテックエキスパート  
田村 恵美さん



問い合わせは、facebookまたは、eメール: charites\_letto@outlook.jp  
\*2万人以上の接客経験、1千人以上の個別相談の経験を生かし、従業員のカウンセリングの請け負いを始める予定。女性向けの更年期セミナーも随時開催。

田村さんは、フェムテックエキスパートの資格を持ち、「生理」「更年期」など、女性が言いにくく、男性が聞きにくい女性のライフイベントに関する正しい知識を伝える活動を行う。ラウンジを26年間経営。経営者と従業員、男女の意見の違いを直接肌で感じていた。出産後、体調不良を抱えながら店舗を運営していた経験を持っていて、コロナの自粛要請時に出



会ったフェムテックに感銘を受け、企業向けに女性活躍推進のサポートを行うことにした。商品やサービスを指す造語として生まれたフェムテックだが、

正しい知識を学ぶことも大切な要素という。主にセミナーを実施。男性にはセクハラを回避し円滑にコミュニケーションが取れるようになる手法を解説。女性には我慢する必要はないことを伝える。ただ「不調を訴えるのが当然」と思わず感謝の気持ちを忘れてはいけない」と田村さん。「相互理解を深め、働きやすい職場作りのお手伝いをしたい」とする。

※当コーナーにご登場いただける女性を募集しています ☎089-947-1411(うわさの女係)

**ゴジラ級のじゃこ天** 探訪



(有)安岡蒲鉾店(宇和島市三間町、安岡一社長)は、このほど公開された映画「ゴジラ1・0」とコラボレーションした「ゴジラ級のじゃこ天」の期間限定販売を開始した。同社は1952年創

業。看板商品のじゃこ天は、新鮮な小魚を一匹一匹手作業でさばき昔ながらの石臼製法で仕上げている。じゃこ天の原料として特においしい魚として知られるホタルジャコ(ハランボ)を使用し、季節ごとの旬の魚も取り入れる。同社のこだわりが詰まった宇和島じゃこ天をより多くの人に知ってもらいたいとの思いから、日本のみならず世界から愛され、幅広い世代にファンを持つゴジラとのコラボレーションを実現させた。ゴジラ級のじゃこ天は、宇和島じゃこ天をつかんだゴジラのパッケージが特徴。3枚入りで価格は税込680円。同社の直営店▽本社工場▽道の駅みま店▽かけはし松山店(JR松山駅構内)―とオンラインショップ、東京・新橋のアンテナショップ「せとうち旬彩館」で購入できる。11月30日までの期間限定販売。

社長の★**Birthday**

- 村上裕一さん(四国溶材株)、昭和42年11月6日
- 越智功二さん(株七福ホーム)、昭和44年11月6日
- 清水一郎さん(株伊予鉄グル1プ)、昭和42年11月7日
- 伊藤成基さん(大屋不動産株)、昭和49年11月7日
- 白石康貴さん(株ウスイ電業)、昭和47年11月8日
- 鎌田哲郎さん(有アクティブ・フィーリング)、昭和49年11月8日
- 清水盛士郎さん(重松兄弟設備株)、昭和44年11月9日
- 岩井本恵さん(大王海運株・CEO)、昭和46年11月10日
- 松下光晴さん(松下工業株)、昭和43年11月11日
- 青木恭史さん(株青木商店)、昭和39年11月12日

2023年版会社年鑑より一部掲載